

3月10日(土)

Time	受付 3号館1F ロビー	シンポジウム会場 1号館B1F マルチメディア講堂	A会場 2号館3F 355講義室	B会場 2号館2F 255講義室	C会場 2号館2F 251講義室	D会場 2号館3F 351講義室	ポスター会場 1号館3F 多目的ホール
10:00	口頭発表 データ受付 (1号館1F) 10:00-12:30 総合受付 (当日受付・事前登録受付・ 座長受付・審査員受付) 10:00-16:30						10:15-11:00
10:30		10:45-11:00 第138回関東部会 学術評議員会					ポスター掲示
11:00		11:00-12:00					ポスター閲覧 (休憩室も用意 しております)
11:30		平成30年度 通常総会・ 学術評議員会					
12:00							
12:30							
13:00	総合受付 10:00-16:30 次世代薬理学 セミナー		13:00-14:00	13:00-14:00	13:00-14:00	13:00-14:00	
13:30		13:30-16:30	口頭発表 (中枢・末梢 神経1) A1-5	口頭発表 (心、血管1) B1-5	口頭発表 (平滑筋、 骨格筋) C1-5	口頭発表 (消化器) D1-5	
14:00			14:05-15:05	14:05-15:05	14:10-15:00	14:05-15:20	14:00-15:00
14:30			口頭発表 (中枢・末梢 神経2) A6-10	口頭発表 (心、血管2) B6-10	口頭発表 (免疫) C6-9	口頭発表 (内分泌器官) D6-11	奇数番号 ポスター示説
15:00			15:10-16:10	15:10-16:00	15:10-16:00		
15:30			口頭発表 (中枢・末梢 神経3) A11-15	口頭発表 (心、血管3) B11-14	口頭発表 (呼吸器) C10-13	15:25-16:00	偶数番号 ポスター示説
16:00					口頭発表 (脂肪組織) D12-14		
16:30							ポスター閲覧
							16:30-17:00
							ポスター撤収
17:00	17:00~19:00 懇親会 芝パークホテル						

13:00-14:00 口頭発表 中枢・末梢神経 1

座長：鈴木秀典（日本医科大学大学院医学研究科薬理学）

田辺光男（北里大学薬学部薬理学）



A-1 熱性けいれんフェノタイプに対する GABA 受容体作用薬の影響



○笠原由佳、井形秀吉、佐々木拓哉、小山隆太、池谷裕二
東京大学大学院薬学系研究科薬品作用学教室

A-2 BDNF を介したニューロン-マイクログリア相互作用



○小野寺純也、小山隆太、池谷裕二
東京大学大学院薬学系研究科薬品作用学教室

A-3 古い文脈的恐怖記憶に対するリルゾールの効果



○赤木希衣^{1,2}、山田美佐¹、岡淳一郎²、山田光彦¹

¹国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 精神薬理研究部 ²東京理科大学 薬学部 薬理学研究室

A-4 ترامドールの脳内報酬系に及ぼす影響

○浅利友紀¹⁾、池田裕美子²⁾、舘野周³⁾、大久保善朗³⁾、飯島毅彦¹⁾、鈴木秀典²⁾

¹⁾昭和大学歯学部全身管理歯科学講座歯科麻酔科、²⁾日本医科大学大学院医学研究科薬理学分野、

³⁾日本医科大学大学院医学研究科精神・行動医学分野

A-5 神経障害性アロディニアに関与する一次求心性 Aβ線維：光遺伝学的解析



○関根美鈴¹、田島諒一¹、古賀啓祐¹、八尾寛²、井上和秀³、古江秀昌⁴、
津田誠¹

¹九州大院・薬・ライフイノベーション、²東北大院・生命科学・脳機能解析、³九州大院・薬・薬理、

⁴兵庫医科大・生理学神経生理部門

14:05-15:05 口頭発表 中枢・末梢神経2

座長：五嶋良郎（横浜市立大学医学部分子薬理神経生物学）
葛巻直子（星薬科大学薬理学）



A-6 脊髄 HMGB1 関連受容体/グリア細胞/NOS シグナルを介する脳卒中後疼痛の発現機序の解明



○松浦 渉¹⁾、原田慎一¹⁾、劉 克約²⁾、西堀正洋²⁾、徳山尚吾¹⁾

¹⁾神戸学院大学 薬学部 臨床薬学研究室、²⁾岡山大学 大学院医歯薬総合研究科 薬理学研究室

A-7 慢性ストレス暴露後の脳内遊離脂肪酸変化が痛みの慢性化に与える影響



○相澤風花¹⁾、山下琢矢²⁾、中本賀寿夫¹⁾、糟谷史代²⁾、徳山尚吾¹⁾

1. 神戸学院大・薬・臨床薬学 2. 神戸学院大・薬・毒性学

A-8 FFAR1/GPR40は疼痛遷延化に伴う情動行動変化に關与する



○¹⁾水沼亮太、¹⁾栗原 崇、¹⁾神戸悠輝、²⁾平澤 明、³⁾中本賀寿夫、⁴⁾大吉達樹、³⁾徳山尚吾、⁴⁾有田和徳、¹⁾宮田篤郎

¹⁾鹿児島大院・医歯・生体情報薬理、²⁾京都大院・薬・薬理ゲノミクス、³⁾神戸学院大・薬・臨床薬学、⁴⁾鹿児島大院・医歯・脳神経外科学

A-9 ダウン症者で見られるカルシニューリン-NFATシグナルの調節異常とアルツハイマー病関連分子の関連解析

○浅井 将^{1,2)}、高島 志風¹⁾、金城 亜衣美²⁾、柳下 聡介³⁾、丸山 敬³⁾、岩田 修永^{1,2)}

¹⁾長崎大学大学院医歯薬学総合研究科、²⁾長崎大学薬学部、³⁾埼玉医科大学医学部

A-10 網膜色素変性症モデルマウスにおける microRNA の解析



○澤田翔平、森麻美、坂本謙司、中原努

北里大・薬・分子薬理

15:10-16:10 口頭発表 中枢・末梢神経3

座長：小山隆太（東京大学大学院薬学研究科薬品作用学）

高木教夫（東京薬科大学薬学部応用生化学）



A-11 マウスNMDA誘発網膜神経傷害におけるmiR-124の役割



○曾根康平、森 麻美、坂本謙司、中原 努

北里大・薬・分子薬理

A-12 マウスNMDA誘発網膜神経傷害に対するsalubrinalの影響



○小口 拓海、森 麻美、坂本 謙司、中原 努

北里大学・薬・分子薬理

A-13 パーキンソン病モデルでの脳炎症反応におけるEP3受容体の役割



○花田美憂¹、佐々木萌¹、内藤康仁¹、渡辺俊¹、岩井孝志¹、尾山実砂¹、
田辺光男¹、松尾由理^{1,2}

¹北里大薬薬理,²北陸大薬医療薬

A-14 AMPA受容体をターゲットとした新規抗うつ薬の開発



○宮崎 智之、中島 和希、藤川 薫、波多野 真衣、有澤 哲、高橋 琢哉

横浜市立大学・医学部・生理学

A-15 貪食性アストロサイトによる神経回路リモデリング

○小泉修一、森澤陽介、平山友里

山梨大学 大学院総合研究部医学域 薬理学

13:00-14:00 口頭発表 心、血管1

座長：山田充彦（信州大学医学部分子薬理学）

田中光（東邦大学薬学部薬物学）



B-1 血管内皮細胞の遊走に対する五苓散の抑制作用



○村上一仁、堀江一郎、磯濱洋一郎

東京理科大学薬学部・応用薬理学研究室

B-2 PGD₂が血管内皮細胞への単球の接着に与える影響



○藤井省太、前原都有子、中村達朗、村田幸久

東大・院・放射線動物科学

B-3 心臓組織性マクロファージは心筋細胞の代謝を制御することで心機能を保護している



○石井 貴浩^{1,2}、幸 龍三郎¹、工藤 藤美¹、柴田 宗彦¹、高野 博之²、
真鍋 一郎¹

¹千葉大学大学院医学研究院 長寿医学、²千葉大学大学院薬学研究院 分子心血管薬理学

B-4 新生仔マウス網膜において観察される血管異常と細胞外マトリックスとの関連：新規未熟児網膜症モデルとしての可能性



○森田 茜、郷古朋美、松村麻美、森 麻美、坂本謙司、中原 努

北里大・薬・分子薬理

B-5 心筋細胞における Kir6.1 強制発現マウスに認められた突然死の解析

○松本明郎¹、渡部恭大¹、岸本充²、中谷晴昭¹

千葉大学大学院医学研究院¹薬理学、²病態病理学

14:05-15:05 口頭発表 心、血管2

座長：小林恒雄（星薬科大学機能形態学）

田野中浩一（東京薬科大学薬学部分子細胞病態薬理学）



B-6 プリン作動性P2Y6受容体の多量体化とその生理的意義



○下田 翔^{1,2}、Caroline Sunggip¹、西村 明幸^{1,2}、田中 智弘¹、冨田 拓郎^{1,2}、西山 和弘³、西田 基宏^{1,2,3,4}

¹自然科学研究機構 岡崎統合バイオサイエンスセンター(生理学研究所) 心循環シグナル研究部門 ²総合研究大学院大学 生命科学研究科 生理科学専攻 ³九州大学大学院薬学研究院 創薬育薬研究施設統括室

B-7 高血糖マウス心臓におけるTRPC6発現増加の生理的意義



○小田 紗矢香^{1,2}、冨田 拓郎^{1,2}、西村 明幸^{1,2}、西田 基宏^{1,2,3}

¹岡崎統合バイオサイエンスセンター(生理学研究所)心循環シグナル研究部門、²総合研究大学院大学、³九州大学大学院薬学研究院創薬育薬研究施設統括室

B-8 ヒトiPS細胞由来心筋細胞の動きベクトル解析による抗がん薬心毒性の評価



○酒徳航平、岩崎菜々美、杉本真太郎、山口賢彦、坂本多穂、黒川洵子

静岡県立大学薬学部 生体情報分子解析学分野

B-9 LapatinibはQT間隔を延長するが、致命的な不整脈を誘発しない

○安東賢太郎^{1,2}、内藤篤彦^{1,2}、中村裕二¹、長澤(萩原)美帆子¹、後藤愛²、千葉浩輝²、Nur Jaharat Lubna²、中瀬古(泉)寛子^{1,2}、杉山篤^{1,2}

1) 東邦大学医学部薬理学講座、2) 東邦大学大学院医学研究科

B-10 包括的催不整脈作用評価のパラダイム構築に向けて：慢性房室ブロック犬を用いたE-4031の催不整脈作用の定量評価



○後藤愛¹、中村裕二²、千葉浩輝¹、Nur Jaharat Lubna¹、長澤(萩原)美帆子²、中瀬古(泉)寛子^{1,2}、安東賢太郎^{1,2}、内藤篤彦^{1,2}、杉山篤^{1,2}

¹東邦大学大学院医学研究科、²東邦大学医学部薬理学講座

15:10-16:00 口頭発表 心、血管3

座長：村田幸久（東京大学大学院農学生命科学研究科放射線動物科学）

黒川洵子（静岡県立大学薬学部生体情報分子解析学）



B-11 Characterization of halothane-anesthetized *microminipigs* using anti-influenza virus drug oseltamivir



○ Nur Jaharat Lubna¹⁾, Yuji Nakamura²⁾, Ai Goto¹⁾, Koki Chiba¹⁾,
Mihoko Hagiwara-Nagasawa²⁾, Hiroko Izumi-Nakaseko²⁾, Kentaro Ando^{1), 2)},
Atsuhiko T. Naito^{1), 2)}, Atsushi Sugiyama^{1), 2)}

¹⁾ Department of Pharmacology, Toho University Graduate School of Medicine ²⁾ Department of
Pharmacology, Faculty of Medicine, Toho University

B-12 モンゴル原産生薬キンポウゲ科 *Aconitum barbatum* 水抽出物の心血管系に対する作用：麻酔ラットでの検討



○ 千葉浩輝¹⁾、後藤 愛¹⁾、Nur Jaharat Lubna¹⁾、安東賢太郎^{1,2)}、長澤 (萩原) 美帆子²⁾、
中村裕二²⁾、中瀬古 (泉) 寛子^{1,2)}、内藤篤彦^{1,2)}、杉山 篤^{1,2)}

¹⁾ 東邦大学大学院医学研究科 ²⁾ 東邦大学医学部薬理学講座

B-13 糖尿病マウス由来マイクロパーティクルに含まれる因子が変化し血管内皮障害が引き起こされる



○ 成松遥、田口久美子、竹下菜美穂、松本貴之、小林恒雄
星薬大

B-14 脳血管網3Dイメージングのための血管鑄造法および組織透明化手法の開発



○ 宮脇 健行¹⁾、洲崎 悦生²⁾、山口 瞬³⁾、上田 泰己²⁾、池谷 裕二¹⁾

¹⁾ 東京大学大学院 薬学系研究科、²⁾ 岐阜大学大学院 医学系研究科、³⁾ 東京大学大学院 医学系研究科

13:00-14:00 口頭発表 平滑筋、骨格筋

座長：亀井淳三（星薬科大学薬物治療学）

山澤徳志子（東京慈恵会医科大学分子生理学）



C-1 PDGFはc-*Src*依存性に全長型Cav1.2 L型Ca²⁺チャンネルを活性化して血管平滑筋細胞を遊走させる

○柏原俊英、郭暁光、中田勉、山田充彦
信州大学医学部分子薬理学教室

C-2 血流障害の改善による神経障害性疼痛緩和の可能性



○石田裕丈、堀江綾香、齊藤真也、石川智久
静岡県大・薬・薬理

C-3 雄性OLETFラット大腿動脈に対するアドレナリン受容体作動薬の反応変化とSOD発現



○小嶋美帆香、松本貴之、小林翔太、安藤眞、井口舞香、高柳奎介、
田口久美子、小林恒雄
星薬科大学 機能形態学

C-4 雄性OLETFラット摘出胸部大動脈におけるuridine adenosine tetraphosphate誘発反応に対する薬理的検討



○高柳奎介、松本貴之、小林翔太、安藤眞、井口舞香、小嶋美帆香、田口久美子、
小林恒雄
星薬科大学 機能形態学

C-5 筋芽細胞の融合におけるp38の役割



○山口君空、富田太一郎、伊藤雅方、村上慎吾、三上義礼、赤羽悟美
東邦大学医学部生理学講座統合生理学分野

14:10-15:00 口頭発表 免疫

座長：磯濱洋一郎（東京理科大学薬学部応用薬理学）
神沼修（山梨大学総合分析実験センター）



C-6 マクロファージと血管内皮細胞の細胞間相互作用による血管新生促進機構の解析

○小堀 宅郎¹、濱崎 真一²、北浦 淳寛²、山崎 由衣¹、西中 崇¹、丹羽 淳子¹、
西堀 正洋³、高橋 英夫¹

¹近畿大学医学部薬理学教室、²近畿大学医学部麻酔科学講座、³岡山大学大学院医歯薬学総合研究科薬理学分野

C-7 Effects of inter-alpha inhibitor proteins (IAIP) on neutrophil functions

○ Soe Soe Htwe¹, Hidenori Wake¹, Keyue Liu¹, Kiyoshi Teshigawa¹,
Barbara S. Stonestreet³, Yow-Pin Lim², Masahiro Nishibori¹

1. Department of Pharmacology, Okayama University Graduate School of Medicine, Dentistry and Pharmaceutical Sciences., 2. Department of Pathology and Laboratory Medicine, Warren Alpert Medical School of Brown University and ProThera Biologics, Inc. USA., 3. Department of Pediatrics, Women & Infants Hospital of Rhode Island, The Alpert Medical School of Brown University, Providence, RI, USA.

C-8 T細胞受容体シグナル伝達における **formin** の機能解析

○桂 義親、タムケオ ディーン、成宮 周
京都大学大学院 医学研究科 創薬医学講座

C-9 肥満細胞由来のPGD₂は蜂毒の皮膚からの血中移行を抑制する



○藤原祐樹、中村達朗、前原都有子、村田幸久
東大・院・放射線動物科学

15:10-16:00 口頭発表 呼吸器

座長：安西尚彦（千葉大学大学院医学研究院薬理学）

木澤靖夫（日本大学薬学部機能形態学）



C-10 鼻粘膜過敏性亢進を指標としたアレルギー性鼻炎治療薬の再評価

○神沼 修^{1,2,3}、西村 友枝²、佐伯 真弓²、森 晶夫^{2,3}、廣井 隆親²

¹山梨大学・総合分析実験センター、²東京都医学総合研究所・花粉症プロジェクト、³国立病院機構相模原病院・臨床研究センター

C-11 アレルギー性鼻炎モデルマウスの鼻汁における脂質メディエーターの産生量の変化



○橘 侑里、中村 達郎、堀上 大貴、村田 幸久

東大・院・放射線動物科学

C-12 水チャネルaquaporin類による刺激選択的な炎症応答調節作用



○小森駿、小川達郎、堀江一郎、磯濱洋一郎

東京理科大学薬学部・応用薬理学研究室

C-13 悪性中皮腫細胞HEG1タンパク質に対する抗体の作製



○加藤 嵩大^{1,2}、森脇 康博¹、三澤 日出巳¹、辻 祥太郎²

¹慶應義塾大学 薬学部 薬理学講座、²神奈川県立がんセンター 臨床研究所

13:00-14:00 口頭発表 消化器

座長：堀正敏（東京大学大学院農学生命科学研究科獣医薬理学）
金田剛治（日本獣医生命科学大学獣医学科獣医薬理学）



D-1 Curcumin Promotes Apoptosis of Activated Hepatic Stellate Cells by Inhibiting the MyD88 Pathway

Ya-Jun He¹, Kenny Kuchta², Yan-Mei Deng¹, Silke Cameron², Xu-You Liu¹, Guo-Ron Ye¹, Xia Lv¹, ○ Yuta Kobayashi³, Jian-Chang Shu¹

¹ Guangzhou Red Cross Hospital, Jinan University, Guangzhou, China, ² Clinic for Gastroenterology and Gastrointestinal Oncology, University Medical Centre, Göttingen, Germany, ³ Graduate School of Medicine, Shimane University, Izumo, Japan

D-2 長鎖脂肪酸受容体 GPR120/FFAR4 欠損マウスは非アルコール性脂肪性肝炎の炎症を悪化させる

○中本賀寿夫¹、島田幸季¹、平澤明²、徳山尚吾¹

1. 神戸学院大学薬学部臨床薬学研究室、2. 京都大学大学院薬学研究科ゲノム薬理

D-3 抗がん剤誘発食欲不振に対するヒスタミンH₄受容体遮断薬の効果

○山本浩一¹⁾、奥井陸也¹⁾、大和谷厚²⁾

1) 大阪大院・医・保健、2) 大阪大・名誉教授

D-4 炎症性腸疾患モデルマウスにおける温度感受性TRPV1およびTRPM8の局在変化と内臓痛覚過敏

○堀江俊治¹⁾、田嶋公人¹⁾、細谷拓司¹⁾、松本健次郎²⁾

城西国際大学薬学部薬理学研究室¹⁾、京都薬科大学薬物治療学分野²⁾

D-5 ラット回腸平滑筋においてトロンボキサンA₂誘導体はPKCおよびRhoキナーゼを介して収縮Ca²⁺感受性を増強する

○鈴木智貴¹⁾²⁾・田島剛¹⁾・浦川紀元¹⁾・清水一政¹⁾・金田剛治¹⁾

日本獣医生命科学大学 獣医学部 獣医学科 獣医薬理学研究室¹⁾、獣医学部 獣医保健看護学科²⁾

14:05-15:20 口頭発表 内分泌器官

座長：田邊由幸（横浜薬科大学薬理学）

池田弘子（星薬科大学薬物治療学）



D-6 高血糖によるミクログリア機能への影響について



○飯田 智光、吉川 雄朗、谷内 一彦

東北大学大学院医学系研究科 機能薬理学分野

D-7 膵β細胞概日リズム形成に関わる分子の発現および機能解析

○鴨志田ありさ、金子雪子、八木雄也、中村哲、石川智久

静岡県立大学大学院 薬学研究院 薬理学教室

D-8 膵β細胞における柑橘類果皮抽出成分ノビレチンの抗糖尿病効果の解析



○青柳 有紀、金子 雪子、秋山 季里子、多良 勇輝、山本 萌絵、石川 智久

静岡県立大学 薬学部 薬理学教室

D-9 子宮内膜の着床準備機構におけるプロゲステロン受容体膜構成因子1(PGRMC1)の役割



○米川 涼¹、吉江 幹浩¹、田村 和広¹、桑原 直子¹、立川 英一¹、井坂 恵一²、西洋孝²

¹東京薬科大学、内分泌・神経薬理学教室、²東京医科大学、産科婦人科学教室

D-10 ヒト子宮内膜間質細胞における5α-還元酵素を介した局所的なプロゲステロン代謝と脱落膜化との関係



○千葉 翼¹、吉江 幹浩¹、田村 和広¹、桑原 直子¹、立川 英一¹、井坂 恵一²、西洋孝²

¹東京薬科大学、内分泌・神経薬理学教室、²東京医科大学、産科婦人科学教室

D-11 高感度カルシウムインジケータータンパク質YC-Nano50を用いた膵β細胞の生体内イメージング解析

○金丸和典^{1,2}、太向勇²、北島奈美¹、関谷敬¹、飯野正光²

¹東京大学大学院 医学系研究科 細胞分子薬理学、²日本大学 医学部 細胞分子薬理学

15:25-16:00 口頭発表 脂肪組織

座長：赤羽悟美（東邦大学医学部生理学・統合生理学）



D-12 ラクトフェリンの脂肪減少作用



○本間 運人¹⁾、出雲 信夫¹⁾²⁾、宮崎 誠也¹⁾、櫻井 潤¹⁾、加賀谷 伸治³⁾、速水 耕介¹⁾²⁾、中野 真¹⁾²⁾、星野 達雄³⁾、渡邊 泰雄¹⁾²⁾

¹⁾横浜薬科大学総合健康メディカルセンター、²⁾食化学研究室、³⁾NRLファーマ

D-13 高脂肪食による肥満誘導に抵抗性を示す ddY 個体群における肝脂質代謝機能の解析

大沼麻子¹⁾、○下ノ村和貴¹⁾、橋本圭祐¹⁾、今村美久絵¹⁾、斎藤麻希²⁾、前田利男³⁾、田邊由幸¹⁾

¹⁾横浜薬科大学薬理学、²⁾岩手医科大学分子細胞薬理学、³⁾静岡県立大学薬学部

D-14 小胞体ストレス負荷時の脂肪細胞機能と SERPINA1 発現



○黒田 陽仁¹⁾、田村 和広¹⁾、安藤 友香理¹⁾、松谷 毅²⁾、吉江 幹浩¹⁾、桑原 直子¹⁾、立川 英一¹⁾

¹⁾東京薬科大学、内分泌・神経薬理学教室、²⁾日本医科大学、消化器外科

ポスター発表 (掲示 11:00-16:30)

示説時間 奇数番号 14:00-15:00

偶数番号 15:00-16:00



P-1 リン酸化Akt およびMAPK発現変化を介した新規ベンズインドール誘導体の抗グリオーマ作用の解明

○藤野 恵理¹⁾、八木澤 昂大¹⁾、渡邊 有加里¹⁾、高橋 詩織¹⁾、Nyo Mi SWE²⁾、中谷 善彦¹⁾、渡邊 敏子²⁾、天野 託¹⁾

国際医療福祉大・薬・薬治¹⁾、国際医療福祉大・薬・創薬有機²⁾

P-2 ヒトiPS細胞由来アストロサイトはヒトiPS細胞由来神経細胞の神経回路の同期活動を増加させる



○鹿山 将¹⁾、鈴木 郁郎²⁾、小田原 あおい^{2,3)}、佐々木 拓哉^{1,4)}、池谷 裕二¹⁾

¹⁾東京大学、²⁾東北工業大学、³⁾日本学術振興会、⁴⁾戦略的創造研究推進事業さきがけ

P-3 直線経路課題における海馬場所細胞の発火変動の解析



○八木佐一郎¹⁾、井形秀吉¹⁾、鹿野悠¹⁾、青木勇樹¹⁾、佐々木拓哉^{1,2)}、池谷裕二¹⁾

¹⁾東京大学大学院薬学系研究薬品作用学教室、²⁾戦略的創造研究推進事業さきがけ

P-4 マウス不安様行動における大脳皮質と末梢生理活動の定量評価



○小此木 闘也¹⁾、中山 亮太¹⁾、佐々木 拓哉^{1,2)}、池谷 裕二¹⁾

¹⁾東大院・薬・薬品作用学、²⁾戦略的創造研究推進事業さきがけ

P-5 ラットにおける洞察様学習の発見とその解析



○牧野 健一、池谷 裕二

東京大学 大学院薬学系研究科 薬品作用学教室

P-6 新規がん悪液質治療薬開発を目指した悪液質モデルマウス脳内代謝変化の解析

○宇津美秋¹⁾、野中美希¹⁾、宮野加奈子¹⁾、佐藤洋美²⁾、呉林なごみ³⁾、村山尚³⁾、櫻井隆³⁾、樋坂章博²⁾、上園保仁^{1,4)}

¹⁾国立がん研究センター 研究所 がん患者病態生理研究分野、²⁾千葉大学大学院 薬学研究院 臨床薬理学研究室、³⁾順天堂大学 医学部 薬理学講座、⁴⁾国立がん研究センター 先端医療開発センター 支持療法開発分野

P-7 脳特異的 **Superoxide dismutase 2** 欠損マウスはスポンジ状脳症を誘導する

○泉尾直孝¹, 野田義博², 清水孝彦¹

¹千葉大学大学院医学研究院 先進加齢医学, ²東京都健康長寿医療センター研究所

P-8 セラミドキナーゼによる神経機能制御機構の解明

○五木田緑、堀真悠子、中村浩之、村山俊彦

千葉大学薬学部薬学科 薬効薬理学研究室

P-9 **MEK** 阻害薬がプラナリアの個体再生およびドパミン神経の再生に及ぼす影響



○榎本圭輔、肱岡雅宣、北村佳久

立命館大・薬・薬効解析科学

P-10 **DJ-1** 結合化合物はマウスミクログリアにおいて **TLR2** を介した炎症反応を抑制する



○尾上徹、肱岡雅宣、北村佳久

立命館大学薬学部薬効解析研究室

P-11 ラット緑内障モデルの網膜 $\alpha 2$ マクログロブリンおよびアポE含有リポタンパク質の変化と視神経保護に関する研究



○向垣内千早、小島拓也、林秀樹、小林美緒、小出暉、袁博、高木教夫

東京薬科大学 薬学部 応用生化学教室

P-12 初代培養大脳皮質神経細胞障害時の **proprotein convertases** の役割に関する研究



○岩谷結衣、鈴木かおり、山田まりこ、林秀樹、袁博、高木教夫

東京薬科大学 薬学部 応用生化学教室

P-13 脳梗塞後の **active** ミクログリアにおける **progranulin** 発現変化



○堀之北 一郎、林秀樹、水村里沙、山口龍晃、袁博、高木教夫

東京薬科大学 薬学部 応用生化学教室

P-14 ネオエキヌリンAの学習記憶改善作用における作用メカニズムの探索



○佐藤匠¹⁾、濱田幸恵¹⁾、紙透伸治²⁾、倉持幸司³⁾、菅原二三男³⁾、岡淳一郎¹⁾

1)東京理科大学 薬学部 薬理学研究室 2)麻布大学 獣医学部 3)東京理科大学 理工学部

P-15 CGRP 脳室内投与がマウス脳海馬に与える影響

○三島脩太、大塚青海、橋川直也、橋川成美
岡山理科大学大学院 理学研究科 臨床生命科学専攻

P-16 アストロサイトに由来するMHC classIの機能解析

○伊藤 教道¹、祖父江 顕¹、永井 拓¹、シャン ウェイ¹、中島 晶²、村上 由希³、毛利 彰宏⁴、山本 康子⁵、鍋島 俊隆⁴、斎藤 邦明⁵、山田 清文¹
¹名古屋大院・医・医療薬学・薬剤部、²弘前大・農・食品、³同志社大院・脳科学・神経発生分子機能、⁴藤田保健衛生大・医療科学・先進診断システム探索、⁵藤田保健衛生大院・保健・病態制御解析

P-17 幼若期ACTH反復投与によって惹起される抑うつ様行動の週齢変化

○山口 拓、馬場一輝、前田ふみ、松元秀憲、福森 良、山本経之
長崎国際大学薬学部薬理学研究室

P-18 パクチー (*Coriandrum sativum* L.) の中枢作用



○櫻井 潤、出雲 信夫、桑原 悠、宮崎 誠也、本間 運人、都築 繁利、速水 耕介、中野 真、渡邊 泰雄
横浜薬科大学総合健康メディカルセンター

P-19 Streptozotocin 誘発糖尿病マウスにおける恐怖記憶の変化に対する脳内 AMP 活性化プロテインキナーゼの関与



○山岸 愛実、池田 弘子、米持 奈央美、亀井 淳三
星薬科大学 薬物治療学教室

P-20 高糖負荷時の認知学習記憶能に及ぼすマメ科植物クズの影響評価

○和久田宗、清家稜太、Feng Xiaoyu、Zheng Jingqiao、山下樹三裕
長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科 化学物質生体影響評価研究室

P-21 マウス内側前頭前野前辺縁皮質におけるオピオイド δ 受容体を介した情動調節メカニズムについての検討



○萱島修平^{1,2}、斎藤顕宜¹、早田暁伸^{1,3}、長瀬博⁴、吉澤一巳²、岡淳一郎³、山田光彦¹
¹国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 精神薬理研究部、²東京理科大学 薬学部 疾患薬理学研究室、³東京理科大学 薬学部 薬理学研究室、⁴筑波大学 国際統合睡眠医科学研究機構 創薬化学研究室

P-22 ニコチン性アセチルコリン受容体に対する内在性モジュレーター **Ly6H**の調節作用



○浅野慎介¹、森脇康博¹、渡邊みずほ¹、久保那月¹、加藤総夫²、三澤日出巳¹
¹慶應義塾大学 薬学部 薬理学講座、²東京慈恵会医科大学 神経科学研究部

P-23 ハイコンテンツイメージング解析法を用いた神経細胞発達過程におけるシナプス機能評価

○山川佳苗、小金澤紀子、白尾智明
群馬大学大学院医学系研究科神経薬理学

P-24 TRPM2活性化を介したマクロファージからのCXCL2産生が多発性硬化症の病態を増悪させる

○白川久志、平瀬僚、筒井真人、宮村咲映、永安一樹、金子周司
京都大学大学院薬学研究科生体機能解析学分野

P-25 イヌトウキのアミロイドペプチド誘発性神経細胞傷害に対する保護作用

坂上宏¹、○斎田圭子²、斎田悟²、八幡由花紫²、三間修³
¹明海大学歯科医学総合研究所(M-RIO)²(株)アピカコーポレーション³(株)K'sコレクション

P-26 ササヘルスによるホルメシスおよび神経細胞保護効果の誘導

坂上宏¹、友村美根子^{1,2,5}、友村明人²、増田宜子^{1,3}、横瀬敏志³、岩間聡一⁴、中川美香⁴、鈴木隼人⁴、田中健大⁴、阿部智之⁴、大石洋平⁴、田村暢章⁴、竹島浩⁴、安井利一⁶、辻まゆみ⁷、木内祐二⁷、小口勝司⁷、○堀内美咲⁸、藤澤知弘⁸、勝呂まどか⁸、大泉浩史⁸、大泉高明⁸
¹明海大学歯科医学総合研究所(M-RIO)、明海大学歯学部、²生化学・³保存治療学・⁴高齢者歯科学・⁵総合教育センター、⁶口腔衛生、⁷昭和大学医学部薬理学、⁸(株)大和生物研究所

P-27 副腎髄質クロマフィン細胞からのカテコールアミン分泌に対するグレリンの作用



○伊藤真結子、三家本梨央、笹川展幸
上智大学 理工学部 情報理工学科

P-28 腹側被蓋野-側坐核ネットワークの **pathological pain** 制御機構への関与



○渡邊萌¹、佐藤大介¹、手塚裕之²、濱田祐輔¹、近藤貴茂¹、宮崎翔悟¹、鶴尾将伍¹、安田佳世¹、成田道子¹、葛巻直子¹、山中章弘³、成田年^{1,2}
¹星薬科大学 薬理学教室、²星薬科大学 先端生命科学センター(L-StaR)、³名古屋大学 環境医学研究所 神経系分野II

P-29 がん悪液質状態下における“末梢-脳-末梢”連関の解析：炎症に伴う視床下部グリア細胞の細胞の変容



○浅野克倫¹⁾、濱田祐輔¹⁾、相内俊樹¹⁾、森美貴子¹⁾、吉田小莉¹⁾、金尾奈穂美¹⁾、成田道子¹⁾、手塚裕之²⁾、葛巻直子¹⁾、成田年^{1,2)}

¹⁾星薬大・薬理、²⁾星薬大・先端研 (L-StaR)

P-30 薬剤性QT間隔延長に対する α_1 アドレナリン受容体刺激薬methoxamineの影響



○川上聡士¹⁾、永澤悦伸¹⁾、神林隆一¹⁾、長澤(萩原)美帆子^{1,2)}、曹新¹⁾、相本恵美¹⁾、高原章¹⁾

¹⁾東邦大学・薬学部・薬物治療学、²⁾東邦大学・医学部・薬理学

P-31 Streptozotocin 誘発糖尿病マウス心室筋における心筋弛緩機能不全に対する薬理的検討



○金江春奈¹⁾、瀧口正悟¹⁾、菅沼万貴¹⁾、伊藤雅方²⁾、杉本結衣²⁾、三上義礼²⁾、富田太郎²⁾、村上慎吾²⁾、赤羽悟美²⁾、行方衣由紀¹⁾、田中光¹⁾

¹⁾東邦大学薬学部薬物学教室、²⁾東邦大学医学部生理学講座統合生理学分野

P-32 発表辞退

P-33 カカオポリフェノール投与による血管内皮機能への影響：メタアナリシスによる検討



○長井優希, 速水耕介, 大島郁世, 倉持優衣, 福田ぜそく, 出雲信夫, 渡邊泰雄, 中野真

横浜薬大・薬

P-34 ラット摘出灌流心での過酸化水素誘発プレコンディショニングへのHSPB2の関与



○小川惟弘、小林拓也、丸ノ内徹郎、田野中浩一

東京薬大・薬・病態薬理

P-35 ドキソルビシン投与後のラット心筋ジストロフィン関連糖タンパク質の変化



○藤本理恵子、武井彩奈、丸ノ内徹郎、田野中浩一

東京薬大・薬・病態薬理

P-36 アンギオテンシンII誘発高血圧モデルマウスの胸部大動脈と腸間膜動脈の血管内皮機能の比較検討

○伊藤政明、小山輝明、林鷹宏、吉田一貴、松岡功
高崎健康福祉大薬 薬効解析学研究室

P-37 アナフィラキシー誘発ラット血圧・心電図変化に対するヒスタミン受容体遮断薬およびケミカルメディエーター遊離抑制薬投与の影響

○加納誠一郎、愛澤祐花、佐々木祐輔、森山和成、佐藤佑樹、邱 麗麗
北海道薬大 自然科学

P-38 胆石症モデルマウスにおけるBSEPの毛細胆管膜局在化異常機構の解析



○三枝 香都貴、小野 千夏、大西 あゆみ、山崎 泰広、黒川 洵子¹
静岡県大院・薬

P-39 高濃度のアセチルコリンによるラット小腸弛緩反応の解析

小山昌秀、伊藤政明、○松岡功
高崎健康福祉大学薬学部 薬効解析学研究室

P-40 副腎細胞からのストレスホルモン分泌に対するリンゴ葉成分由来テルペノイド関連化合物の影響





○塚原健太¹⁾、桑原直子¹⁾、澤井美音¹⁾、吉江幹浩¹⁾、田村和広¹⁾、立川英一¹⁾
1)東京薬大薬 内分泌・神経薬理学

P-41 高脂肪食による肥満誘導に抵抗性を示す ddY 個体群の肝臓におけるアドレナリンβ受容体の発現低下とグリコーゲンの蓄積について

橋本圭祐¹⁾、○今村美久絵¹⁾、大沼麻子¹⁾、下ノ村和貴¹⁾、斉藤麻希²⁾、前田利男³⁾、田邊由幸¹⁾
1)横浜薬科大学薬理学、2)岩手医科大学分子細胞薬理学、3)静岡県立大学薬学部

P-42 木クレオソートのcytochrome P450酵素活性に対する影響

○西村有希¹⁾、岩瀬万里子¹⁾、田村庄太¹⁾、辻まゆみ¹⁾、伊藤雅文²⁾、米谷一人²⁾、森野博文²⁾、三浦孝典²⁾、柴田 高²⁾、木内祐二¹⁾
1)昭和大学医学部薬理学講座(医科薬理学部門)、2)大幸薬品株式会社

- P-43** トリプルネガティブ乳がん細胞へのエリブリンの曝露は **miR-195** を高発現し **Wnt3a/β-Catenin** シグナル経路を不活化する
 ○佐々木晶子¹、岡崎 敬之介¹、古屋貫治²、辻まゆみ¹、小山田英人¹、宇高結子¹、木内祐二¹
¹昭和大学医学部薬理学講座医科薬理学部門²昭和大学 藤が丘病院 整形外科
- P-44** フラノクロモン誘導体の定量的構造 - 細胞傷害性相関解析
 ○植沢芳広¹、高尾浩一²、杉田義昭²、加賀谷肇¹、奥平准之³、坂上宏⁴
¹明治薬科大学臨床薬剤学、²城西大学薬学部有機化学、³明海大学歯学部薬理学、⁴明海大学歯科医学総合研究所(M-RIO)
- P-45** **ADP-ribosyl-acceptor hydrolase 3** は、**poly(ADP-ribose) polymerase 1** 依存的プログラム細胞死 **parthanatos** を抑制する
 ○間下 雅士^{1,2}、加藤 治郎²、Joel Moss²
¹同志社女子大学薬理、²Cardiovascular and Pulmonary Branch, NHLBI, NIH
- P-46** システマティックレビューによるイノシトール経口摂取における安全性評価:**Inositol**の臨床試験より
 ○倉持優衣, 速水耕介, 大島郁世, 福田ぜそく, 長井優希, 出雲信夫, 渡邊泰雄, 中野 真
 横浜薬大・薬
- P-47** 桔梗湯の抗炎症効果の検討 - 製剤間における **NO** 産生抑制効果 -
 ○南絢子¹、鈴木小夜¹、成川佑次²、木内文之²、中村智徳¹
¹慶應義塾大学大学院薬学研究科医療薬学部門、²同 天然医薬資源学講座
- P-48** **TLR3** による **PTEN** 発現抑制を介したコルチコステロイド治療抵抗性の誘導
 ○西本 裕樹、岩本 一平、大出 はるか、勝又一葵、鈴木 彩加、久住 健太郎、枝 さゆり、木村 将大、上田 敬太郎、木村 元気、益子 崇、木澤 靖夫
 日本大薬
- P-49** マスト細胞の **P2X7** 受容体を介した脱顆粒反応に対する **HMG-CoA** 還元酵素阻害薬の影響
 ○吉田一貴、内田龍之介、伊藤政明、松岡功
 高崎健康福祉大学薬学部 薬効解析学研究室

P-50 動脈硬化においてCGRPがマクロファージの機能に与える影響

○松内省太、佐原里菜、曾田沙彩、橋川直也、橋川成美
岡山理科大学大学院 理学研究科 臨床生命科学専攻

P-51 立体的かつ構造改変が容易な創薬候補化合物群の探索
-CellKey™アクセシシステムを用いて-



○芦沢夏鈴^{1,3}、梅本翔¹、染谷僚人^{1,3}、唐木文霞^{1,2}、江藤萌子³、野中美希³、
宇津美秋³、宮野加奈子³、平山重人^{1,2}、藤井秀明^{1,2}、上園保仁^{3,4}

¹北里大・薬・生命薬化学教室、²北里大・薬・医薬研、³国立がん研究センター研究所・がん患者病態生理研究分野、⁴国立がん研究センター研究所・先端医療開発センター・支持療法開発分野

P-52 モルヒネの3次元構造をもとに設計された新規化合物の各オピオイド受容体に対するアゴニスト活性の解析-CellKey™システムによる細胞アッセイを用いて-



○染谷僚人^{1,2}、芦沢夏鈴^{1,2}、江藤萌子²、平山重人¹、伊藤謙之介¹、宇津美秋²、
野中美希²、宮野加奈子²、藤井秀明¹、上園保仁^{2,3}

¹北里大・薬・生命薬化学教室、²国立がん研究センター研究所・がん患者病態生理研究分野、
³国立がん研究センター・先端医療開発センター・支持療法開発分野